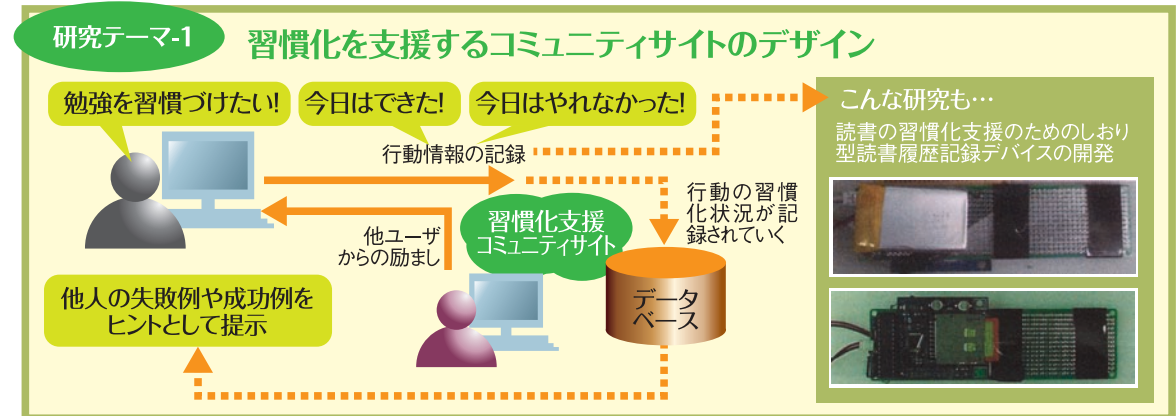


三好研究室

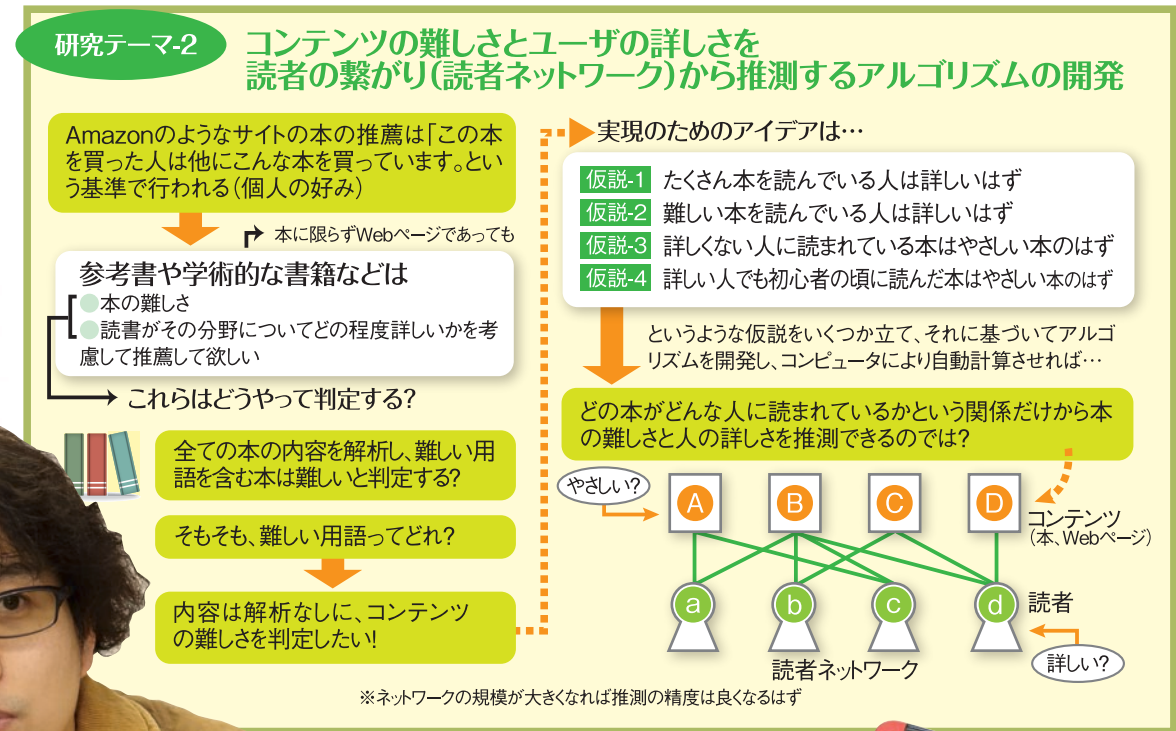
人間の行動をチェックする三好流の教育工学!

三好研究室では教育工学の研究を行っており、インターネットのWebコンテンツやそれらのつながりを集合知として捉え、教育や学習に活用することを目指しています。そしてそれを実現するためのシステムの設計・開発を行っています。ここでは研究例としてテーマを2つ紹介します。

研究テーマ(1)は、勉強や運動、楽器の練習などの継続が難しく三日坊主で終わってしまう人のための習慣化支援コミュニティサイトをデザインする研究です。コミュニティサイトに参加している人のつながりを活用してやる気を高める方法を考えています。



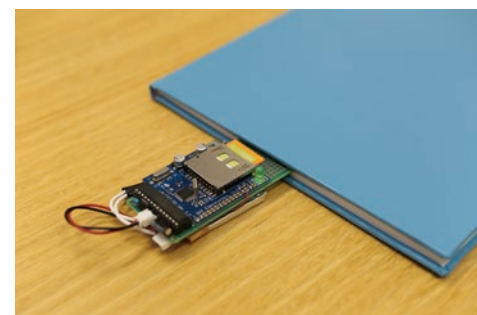
研究テーマ(2)は、教育工学の立場からの情報推薦に関する研究です。本やWebページなどで勉強する時、自分のレベルにあったものを選ばないとやる気が出ませんよね?この研究では、誰がどんなコンテンツを読んだかというつながりのデータ(読者ネットワーク)だけを使って、どのコンテンツがやさしいか難しいか、誰が詳しいか詳しくないかを推測しようとしています。これが実用化されれば、例えば参考書を探している時、自分にぴったりの本を推薦してもらえるようになります。



Profile 高知大学理学部 応用理学科 情報科学コース 講師
三好 康夫 Yasuo Miyoshi

1999年 高知大学理学部 卒業
2001年 高知大学理学部 修士課程修了 修士(理学)
2004年 徳島大学工学部 博士後期課程修了 博士(工学)

ぜひ一度、見学に来てください!



◀▶本を読んだか読んでないかの履歴をとる「しおり型読書記録デバイス」。光ファイバーケーブルのついているこの装置を本にはさむことで、光が当たらなくなると読み終えたセンサーが判断し、その時間を記録します。



作成したプログラムで、動作にまずいところがないかを見ている。



三好研究室でのいつものゼミ風景。3人というのは珍しく、大抵はマンツーマンのスタイルで、みっちり2時間...が、このスタイルなのです!



ソフトウェアのみならず、必要に応じてハードウェアの開発も!

研究室には
だいたい1日6時間
ほどいます!!



古巣の高知大学に帰って7年目になります!

現在は修士1年—1人、4年—3人、3年—3人、研究
生—1人の体制(2014年度)。研究室から旅立った
学生たちは10数名。殆どの方はWebアプリケーシ
ョン開発の会社に進んでいます。